



# おにぎり通信

2010年11月13日 (土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

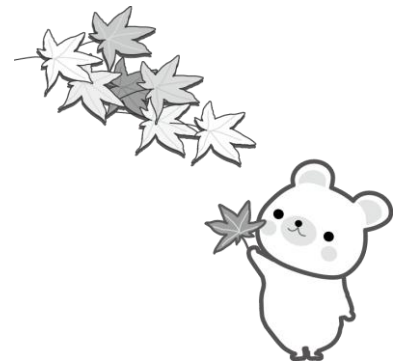
11月に入って、大分寒くなってきました。特に朝と晩は冷えるので、皆様、お体には気を付けてくださいね。

そろそろ、紅葉のシーズンです。日比谷公園では、ハナミズキなどの紅葉が進んでいます。イチョウの黄葉は、まだのようです。サザンカ、菊もそろそろ咲きます。

紅葉ですが、東京の紅葉は11月下旬から12月中旬までが一番の見ごろです。千代田区、中央区にはあまり公園がありませんが、ちょっと出かけたときにでも、モミジやイチョウなどを探してみるとよいかもかもしれません。

(参考 「公園へ行こう！」

<http://www.tokyo-park.or.jp/index.html>)



☆11月1日 福祉行動報告 1名参加されました。  
Aさん 39才 歯痛のため、歯科医院に行かれました。

今回の福祉行動:11月15日(月)、東京駅丸の内北口タクシー乗り場前に、朝8時半までに集合です。

病気やケガの治療を希望される方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。  
**福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。**

## 最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・・・中央区築地 1-1-1中央区役所4階  
千代田区福祉事務所・・・千代田区九段南1-2-1 3階

# 生活保護「働ける人は受給期限を」指定都市市長会が要望

全国19の政令指定市で作る指定都市市長会は20日、民主党と厚生労働省に生活保護制度の抜本改正を要望した。働くことができる人の受給に期限を設けることや、過剰な受診を抑制するため医療費を一部自己負担にすることなどを求めた。

雇用状況の悪化で生活保護を受ける人は急増。特に求職者が集まる都市部に集中している。今回の要望は、全国最多の保護世帯を抱える大阪市が中心となってまとめた。

働くことが可能な人に対しては「集中的かつ強力な就労支援制度」の導入を提言。ボランティアや軽作業などのプログラムへの参加を義務づける。さらに3年あるいは5年で「自立に向けて最大限の努力を行ったか」を判断し保護を続けるかどうかを決める。

また、「地域間の不公平」を是正するため、居住地が定まらない人の生活保護費は全額国が負担することも要望した。

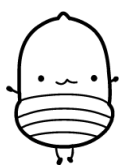
指定都市市長会が期限付き保護を盛り込んだ生活保護法改正案を国に要望したことに対し、市民団体「生活保護問題対策全国会議」など12団体は20日、「失業者や低所得者を生活保護から排除する危険な構想」として、撤回を求める意見書を発表した。

意見書は、米国で実施された5年限定の「有期保護」で元受給者らが貧困状態のまま放置された例を挙げ、日本で期限付き保護が実施された場合、「生活困窮者はたちまち生存の危機にひんする」としている。

(朝日新聞社 HP より抜粋 2010年10月21日)

このような話を読むと、日本の福祉のあり方自体が相当な問題を抱えている、と言わざるをえないでしょう。「働くことが可能」「自立に向けての最大限の努力」の判断基準はなんでしょうか。なかなか働けない事情や努力をしてもうまくいかないときのために、生活保護はあるのだと思いますが…。

これでは、皆の生きる権利が、どこかの自治体のさじ加減一つでどうとでもなることになりかねないように思います。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお早めにお召し上がり下さい。

よつや なかま れんらくさき いわた  
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先:090-4959-0652(岩田)